



「統合報告書 2026」の発行について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、株主・投資家をはじめ全てのステークホルダーの皆さまを対象とする「統合報告書 2026」を発行し、当行ホームページに掲載しましたのでお知らせします。

当行は、長期ビジョン 2030「総合コンサルティング・グループの進化により、地域のみんなとウェルビーイングな社会を創造する」の実現をめざしており、当行グループの財務成果につながる「未財務」とも言える「環境・社会価値」の創出を通じた「経済価値」の追求によって、企業価値の持続的な向上を図っております。2026年4月には、それらを実践するために、中期経営計画「だから、挑む。-地域の未来を、たしかなカタチに-」（2026年度～2028年度）が始動しました。

「統合報告書 2026」では、当行の企業価値向上への道筋が伝わるよう、価値創造プロセスの考え方を示しました。そのうえで、中期経営計画で定めた基本テーマに沿い、6つのマテリアリティ※の解決に向けた具体的な取り組みをご紹介します。

当行は、今後も透明性の高い経営と、ステークホルダーの皆さまとの対話の質向上に向けて、更なる情報開示の充実につとめてまいります。

※①地域経済活性化への取り組み、②人生100年時代への対応、③多様な人材が活躍・成長できる環境の整備、④DXの実現と地域社会のデジタル化、⑤気候変動等、環境課題への取り組み、⑥持続可能な経営基盤の構築



ー表紙ー



ートップメッセージー

<掲載場所>

<https://www.114bank.co.jp/ir/disclosure/>

以 上